

【開講日】平成30年7月8日(日)

はる 武蔵野キャンパス

教育

三鷹

301064

こどもサイエンスクラブ2018

# 新天体を発見しよう!

受講料 (振込額)	親子1組2,500円、子供のみ、または子供2人目より1,500円 教材費300円				
必携テキスト	――				
講座概要	曜日	日曜日		日程	
	時間	10:30～12:00			
	回数	全1回	定員		20名
	開講場所	武蔵野大学 武蔵野キャンパス理科実験室			
講師	本学教育学部特任教授 <b>高橋 典嗣</b> (たかはし のりつぐ)				
	武蔵野大学教育学部児童教育学科特任教授。 武蔵野大学大学院教育学研究科特任教授。 専門は太陽コロナ、地球接近小惑星、スペースデブリで、地球を取り巻く宇宙環境をテーマとした研究と観測に従事してきた。これまでに日本学術会議天文学国際共同観測専門委員、日本学術観測団団長(ザンビア皆既日食)、学校科目「地学」関連学会協議会議長、天文教育普及研究会副会長、日本スペースガード協会理事長などを歴任。 著書に『巨大隕石から地球を守れ』(少年写真新聞社)、『46億年の地球史図鑑』(ベスト新書)、『138億年の宇宙絶景図鑑』(ベスト新書)、『星空の楽しみ方』(洋泉社)など多数。				
内容	夜空を眺めると、輝いている星は星座をつくっています。昔、これらの星々は恒星と呼ばれ、お互いの位置を変えずに永久に輝き続けていると考えられていました。やがて、星にも寿命があることがわかりました。誕生したばかりの星や終焉を迎えようとしている星もあるのです。星が寿命を終える最後は、大爆発を起こして莫大なエネルギーを放ちます。このときの閃光は、何も無い夜空に突然輝き出すことから新星と呼ばれました。 また、夜空には、惑星や肉眼では見ることができない準惑星、小惑星、彗星などの太陽系の天体もたくさん存在しています。これらの天体は、恒星とは違い、時間をおいて夜空の同じ場所をカメラで何枚か撮影し、それらの写真を比較すると恒星の間を移動していくことがわかります。太陽系内には、まだ見つからない彗星や小惑星などの移動天体がたくさんあります。 超新星、彗星、小惑星などの新天体の見つけ方を学び、新天体を見つけるために行った観測データ(写真や画像)を使って解析し、実際に新天体を探してみましょう。 そして、新天体を発見したときの感動と科学に貢献できた喜びを実感してみましょう。				

※お申込の方に、開講前に聴講票とご案内をお送りいたします。当日お持ちください。

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

Musashino University

お問い合わせ TEL 042-468-3222  
FAX 042-468-3211

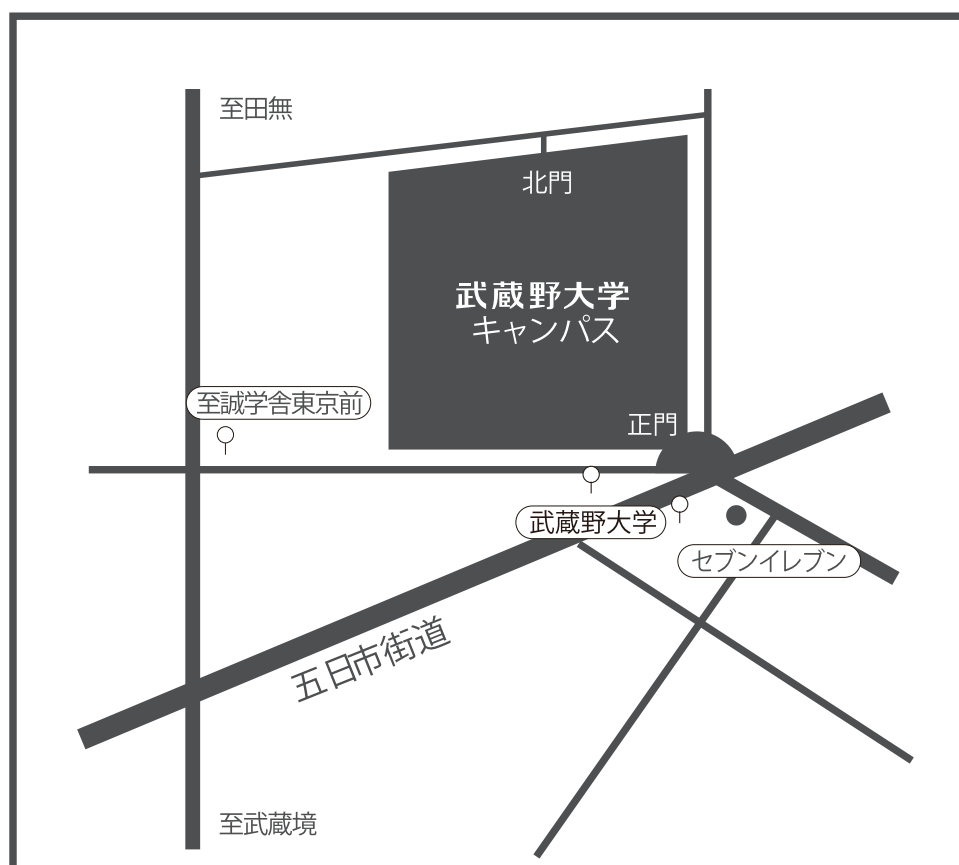
開室日: 月～金曜日 9:30～18:00  
土曜日 9:30～15:30 (祝日を除く)

武蔵野大学 社会連携センター

〒202-8585 西東京市新町1-1-20  
www.musashino-u.ac.jp

# ■ 武蔵野大学 武蔵野キャンパス ■

〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20



## 交通

JR(中央線・総武線)・地下鉄東西線・京王井の頭線		西武新宿線	西武池袋線	
吉祥寺駅下車 北口バス① 向台町5丁目、 桜堤団地行、 約15分 「武蔵野大学」下車	三鷹駅下車 北口バス③ 武蔵野大学行、 武蔵境駅行、武蔵小 金井駅行、約10分 「武蔵野大学」下車	武蔵境駅下車 北口バス③ 三鷹駅行、 武蔵野営業所行、 約7分 「武蔵野大学」下車	田無駅下車 北口バス⑤ 武蔵境駅行 約 5分 「至誠学舎東京前」 下車、徒歩5分	ひばりヶ丘駅下車 南口バス① 武蔵境駅行 約20分 「至誠学舎東京前」 下車、徒歩5分